

科目名 Course Name	カラーコーディネートⅡ Color Coordination			ナンバリング No.	C4-007		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	飯塚 晃代						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。または栄養福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP6						
授業の概要と到達目標	<p>[概要]『カラーコーディネートⅠ』の学習内容を踏まえ、色彩に関するさらに高度な理論を学び、職業に就く上で必要な色彩運用能力を身につけ、生かせるようにする。</p> <p>[到達目標]①色の働きや光と色、色の表示について理解できるようにする。②色彩心理や色彩調和、配色のイメージやビジュアルの色彩について理解できるようにする。③ファッション・インテリアと色彩、景観色彩について理解できるようにする。④色彩について、知識とセンスを身につけ、感性を高める。⑤色彩検定2級取得を目指す。⑥染織文化について、種類や特徴、歴史や技法を学ぶと同時に、色彩的な観点から、自然が生み出す色の面白さや奥の深さを体感する。</p>						
授業の方法	テキストと配色カードを用いて、体験的に色彩理論を理解する。テーマごとの課題にチャレンジすることで、色彩の理解と着実な色彩運用能力を高める。また、染織について図版や実物を提示しながら解説し、伝統文化の特徴について調査し、レポートを作成する。また、天然染料を用いた各種染色技法について、作品製作を通して理解を深める。						
学習成果	L01						
	L02	色彩を理論的に理解し、色彩心理やファッションの色彩などを説明することができる。					
	L03	色彩検定2級程度の知識を身に付け、それを生かして、販売関連業務であれば、色彩的視点から商品陳列、展示できる技能・技術をもち、接客では、カラーコーディネートについて理論的にアドバイスすることができる。また、色彩の知識を染色作品に生かすことができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートや作品等提出物は速やかに講評し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:書き込み式 色彩検定 2 級 (学芸出版社) ※新配色カード 199a を購入すること 参考図書:アパレル染色論(文化服装学院編)、色彩検定(文部科学省後援)公式テキスト 2 級編(色彩検定協会)、色の辞典(西東社)、色の教科書(Gakken) 授業内でプリント配布						
履修上の留意点やルール等	●カラーコーディネートⅠを修得した者 ●レポートや作品等の提出物の期限厳守 ●プリントを綴るファイル・のり・はさみを用意すること。●日頃から色に関心をもち、積極的に授業参加すること。●材料費は自己負担 ●事前・事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回 180 分						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	課題意識をもってノートを取り、意欲的に質問し意見を述べるなど、授業への主体的な態度を評価する。		10	10	
レポート/作品	与えられた課題の内容を適切に理解し表現できているかを評価する。評価基準 S は事前を示した各観点が十分に達成できている状態である。期限を過ぎた場合は減点する。染色実習欠席時はレポートを課す。		10	40	
発表					
小テスト					
試験	後期試験を実施し、色彩の理論が理解されているか、評価する。			30	
その他					
合計			20	80	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(色彩の理論と染織文化について) ①色の働き ②光と色【課題】
	事前・事後学習	自然界に存在する色について関心をもつ。 授業ノートNo.1を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。 テキストの練習問題やワークシートを計画的に進める。
2	授業内容	③色の表示(マルセル表色系)④色彩心理と配色【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.2を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
3	授業内容	⑤色彩調和 ⑥配色イメージ【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.3を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
4	授業内容	⑦ビジュアルの色彩 ⑧ファッションの色彩【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.4を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
5	授業内容	⑨住空間のインテリアと色彩 ⑩景観色彩色の基礎知識【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.5を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
6	授業内容	色彩の理論についてのまとめ。色彩検定2・3級受験に向けた解説等。 次回からの染織に関する授業のガイダンス 染織概論(染物と織物について)
	事前・事後学習	多くの問題を解くことで、自身の弱点を知り、検定試験に向けて克服する。 テキストの練習問題やワークシートを計画的に進め、提出に備える。
7	授業内容	染料の歴史、染料の種類、染織に使われる色(媒染による違い) 染色技法①の説明
	事前・事後学習	染織文化について関心もち、調べたり美術館等に足を運んだりする。 次時の材料準備や作品の構想を練る。
8	授業内容	染色技法①【作品】 自己評価表の提出 染色技法②の説明
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時の材料準備や作品の構想を練る。
9	授業内容	染色技法②【作品】 自己評価表の提出
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時のレポートの材料を収集する。
10	授業内容	日本や世界の染織文化について、染色の種類や特徴、歴史や技法等を調べレポート にまとめる。【レポート】
	事前・事後学習	レポートを完成させ、発表の準備をする。
11	授業内容	染織品に関するレポート発表【レポート】 染色技法③の説明
	事前・事後学習	レポートを仕上げ、提出する。次時の材料準備や作品の構想を練る。
12	授業内容	染色技法③【作品】 自己評価表の提出 染色技法④の説明
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時の材料準備や作品の構想を練る。
13	授業内容	染色技法④【作品】 自己評価表の提出 染色技法⑤の説明
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時の材料準備や作品の構想を練る。
14	授業内容	染色技法⑤【作品】 自己評価表の提出
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時の発表について構想を練る。
15	授業内容	成果物の発表。他者評価。講評。講義の振り返り 試験についての説明と復習 テキスト(練習問題・ワークシート)の提出
	事前・事後学習	学習事項のまとめ 授業ノート及びテキストを完成させ提出する。 繰り返し色彩検定問題を解く。